

たん

ほほ



財団法人 日本医療機能評価機構認定病院



医療法人 社団

光仁会 梶川病院 広報誌

●光仁会 梶川病院の理念

『光仁会は 地域の人々の健康と幸せに貢献し、
あわせて働く人達の健康と幸せを追求します。』

●光仁会 梶川病院の基本方針

- ①身近なかかりつけ医療機関として、自院の役割・能力を客観的に把握し、患者さまに親身に、適切に対応します。
- ②専門的な技術・知識について日々研鑽し、患者さまの身になった、安全で確実な医療を追求します。

2021年 夏号

特集：ひとりひとりの思いを
リハビリテーションで実現する

●委員会紹介：教育研修委員会

●アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)について看護部の取り組み

●光仁会 梶川病院トピックス



OUR MISSION & VALUES

ひとりひとりの思いをリハビリテーションで実現する

『旅行へ行きたい』『美味しいものを食べたい』

私たちの【MISSION:使命】は病気や怪我によって失われた様々な機会をリハビリテーションの力で再び実現することです。そのために先進的な技術を積極的に活用しつつ、多職種相互でのチーム医療にも取り組んでいます。

外へ歩いて出かけた

～歩行支援ロボットによるアプローチ～

脳卒中などの後遺症のある方は、半身麻痺の影響により本来の歩容(歩き方)で歩くことが難しくなります。当院ではそういった方々に対し、密着型歩行支援ロボット『リゲイト』を活用したリハビリテーションを行っています。

人は歩く際、すねの前の筋肉が収縮して働くのと同時にふくらはぎの筋肉が緩むことで爪先が上がります。麻痺のある方では、つまづかないようあまり、ふくらはぎにも力が入ってしまい、爪先が上がらないという現象が起きます。

リゲイトは、足底のセンサーが体重移動を感知し、適切なタイミングで足首の上げ下げを補助します。必要な補助の量やタイミングは、セラピストが歩行分析をもとに専用のタブレットでプログラムを設定します。

脳卒中後遺症の方で歩ける方が対象となりますが、利用される多くの方が効果を実感されています。



リゲイトのパーツです



歩行訓練中です

好きなものを口から食べたい

～摂食機能療法によるアプローチ～

摂食嚥下障害(食物を口から摂取して飲み込むまでの一連の流れのどこかで何らかの障害が発生した状態)などで食事が食べられなくなった時は、何が問題か(食事時の姿勢、食事形態、食器具など)食事場面の観察などの情報収集を行い、摂食嚥下リハビリの治療方針を立て、言語聴覚士がリハビリを行っています。

さらに、摂食・嚥下障害看護認定看護師、管理栄養士、歯科衛生士と共に摂食嚥下チームを構成し、多職種で連携しながら、評価・指導・カンファレンスを行っています。

また、必要に応じて嚥下造影検査(バリウムなどの造影剤を含んだ食事をX線透視下で食べてもらい、嚥下運動や適切な食形態を評価・診断する検査)を実施することもあります。これは入院・外来のどちらでも行っており、管理栄養士と共に食事の調理方法や自主訓練方法など、食べるための適切なフィードバックを行っています。



食事の様子を観察しています

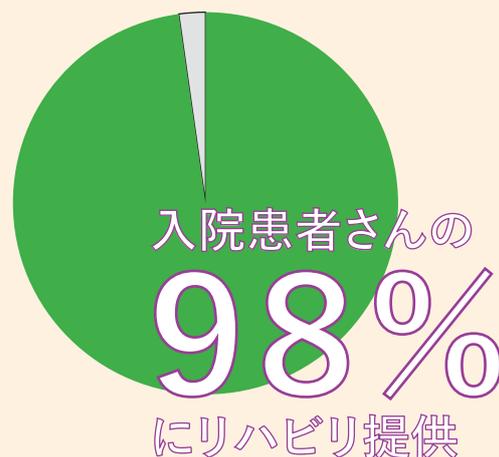
リハビリテーション科のデータ

	病院	デイケア	訪問リハビリ
理学療法士	8名	1名	2名
作業療法士	4名	2名	-
言語聴覚士	2名	-	-
助手	1名	-	-
合計	15名	3名	2名

当院は、地域包括ケア病棟48床、療養病棟40床、あわせて88床の病院です。この病棟種別、この規模の病院としては、セラピストの職種、スタッフ数ともに充実していると思われます。

実際、当院に入院されている患者さん全体の98%にリハビリテーションを提供していますが、全国の平均は59%、治療が中心の大病院では平均16%と低めですので、比較するとより多くの患者さんにリハビリを提供できている事になります。

当院は、大病院からの治療継続+リハビリ目的での転院、在宅からの治療目的で入院される高齢者が多く、リハビリテーションが必要とされる方ばかりです。今後もチーム一丸となって、リハビリテーションの【Values:価値】を体現します。



R3年3月実績



教育研修委員会は、職員の能力の開発・向上を図るために、ひいては患者さんへ絶えず最新の医療を提供するために、新人教育や各種の研修および学会発表を推進する目的で運営されています。そのメンバーは医師、看護師、リハビリセラピスト、診療放射線技師、介護支援専門員など多職種で構成されています。

日常的な業務として、学会出張の申請に対する審議と報告、院内勉強会・新人研修等の企画、運営を行っています。また、「学習ポイント」制度を導入しており、学会、研修に応じたポイントを付与し、毎年上位者には昼礼にて表彰を行っています。



学習ポイントに応じて表彰が行われます

昨年度は、新型コロナウイルス感染症への対応が難しい年でした。広島県の内外を問わず、研修・学会の開催自粛が相次ぎ、希望していた研修などが受けられない状況に陥りました。

そうした中で、人と接することが避けられるWebを利用した学会・研修という新しいあり方が大きく広がり、当院も取り組みを始めました。

既存の制度との整合を図り、更にはこれをきっかけに院内研修にeラーニング(主にインターネットを利用した学習形態のこと)を導入し、昨年9月にはeラーニングを活用した職員全体研修(臨床倫理)を開催・運営しました。

今年度は全職員にeラーニングの個別アドレスを付与し、視聴状況も確認できる体制を構築しました。

今年度のもう一つの取り組みは、全職種のキャリアラダー作成です。

キャリアは経歴、ラダーはハシゴを意味し、ハシゴを登るようにキャリアをアップしていく能力開発のシステムです。ハシゴの1つ1つのステップに仕事の内容・スキル・目標が定義され、キャリアアップしていく事を目指します。

全ては患者さんにより良い医療を提供できるように、教育研修委員会は縁の下での力持ちとして頑張っています。



様々な研修を企画・運営します(写真は新人成長発表会)



アドバンス・ケア・プランニング(愛称「人生会議」) について看護部の取り組み



看護師長 中本幸代

私が看護師になって21年が経過しました。何度も患者さんの最期に立ち合わせて頂き、毎回いろんな感情におそわれますが、看護師の経験を積むにつれて「〇〇さん、最期は幸せだったでしょうか」「亡くなる前に1回でも自宅に帰らせてあげたかった」「ご家族に後悔はないのだろうか」などと自問自答することが増えていきました。

そんな時に「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」について学ぶ場があり、私の中の葛藤はこれだったのかと感じたことを覚えています。

アドバンス・ケア・プランニングとは、あなたの大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかについて、自ら考え、また、あなたの信頼する人たちと話し合うことを言います。

命の危険が迫った状態になると約70%の方が、これからの医療やケアなどについて自分で決めたり、人に伝えたりすることができなくなるといわれています。その場合にも、あなたの信頼できる人や医療・ケアチームが、あなたの価値観や気持ちをよく知っていることが、重要な助けとなるのです。

それからは、状態が悪化し医師からご家族に説明をする際に同席し、「元気なころ何か希望を言われていませんでしたか」と尋ねるように心がけました。そうすると「延命は望んでいませんでした」「胃ろうは嫌だと言っていました」などご本人の意思をご家族が代弁してくれました。これは、その人らしい最期を迎えるために、とても意味のある言葉となります。

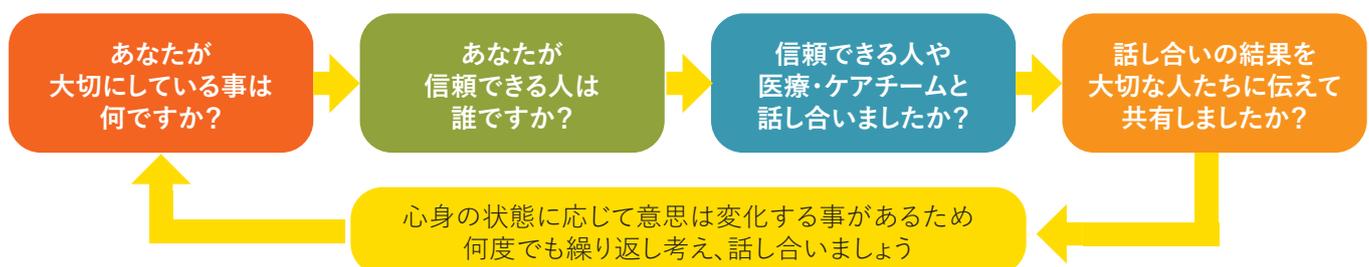
梶川病院では人生の最期の医療について、あなたの尊厳を追求し、あなたらしく生き、より良い最期を迎えられるように支援したいと考え、自分の意思を伝えられなくなった時に受ける医療処置などの希望を、書類にご記入いただいています。

「まだこんなこと考える歳じゃない」「よく分からないから先生にすべてお任せする」という声も多く、記入して頂ける患者さんが少ないのが現状です。しかし人は誰でも、いつでも命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。自分の思いを伝えられなくなってからでは遅いのです。残された大切な方も苦渋の選択をしなければならなくなります。

「まだまだ先のこと」と考えていらっしゃる方も、ぜひこの機会に一度、あなたと、あなたの大切な人が何を感じ、どう思っているのか確認し合ってみてはいかがでしょうか？

※【人生会議】と検索すると、数多くの説明サイトが見つかります。ぜひ一度ご覧になってください。

話し合いの進め方の一例



2021年4月1日 **新任医師のご紹介**

4月1日より、新たに2名の医師が外来を担当します。どうぞよろしくお願いいたします。



ささき けんすけ
佐々木 健介

内科(腎臓)
非常勤
診察日:金曜日



たなか もとき
田中 基樹

総合診療科
非常勤
診察日:水曜日

2021年4月1日 **入職式を行いました**



理事長・院長も加わった集合写真です

医療法人社団光仁会の入職式を行い、梶川病院には看護職5名、リハビリ職3名の計8名が新たに配属されました。

この新しい力を加えて職員一同一致団結し、地域の皆様や各医療機関様のご期待にお応えすべく、医療サービスを一層充実させていただきます。

2021年3月17日 **消防訓練を行いました**



訓練の様子を見ながら丁寧にご指導いただきました

夜間の火災を想定した消防訓練を行いました。

広島市西消防署からもご参加いただき、訓練の様子を観察しながら、少ない人数でどう動けば良いか、煙への対応など、丁寧にご指導をいただきました。

今後も訓練を重ね、より安全な医療環境を提供いたします。



外来担当 医師紹介



院長
すえまる なおこ
末丸 直子
内科
《外来診察日》
月・水・木曜日



副院長
くめ たかし
久米 隆
泌尿器科
《外来診察日》
月・水(隔週)・木・金曜日



副院長
あさみ よしあき
浅海 良昭
外科・内科
《外来診察日》
月・火・木曜日



ひのい としひで
檜井 俊英
内科・循環器科・禁煙外来
《外来診察日》
火・金・土曜日



くしはた しげゆき
串畑 重行
非常勤 内科・禁煙外来
《外来診察日》
金曜日



ながの よしと
永野 義人
非常勤 神経内科
《外来診察日》
水曜日



はらだ ひとし
原田 仁
非常勤 整形外科
《外来診察日》
月・木曜日



なかはら みつる
中原 満
非常勤 泌尿器科
《外来診察日》
火曜日



かわさき まみ
川崎 真実
非常勤 泌尿器科
《外来診察日》
水曜日(隔週)



すえまる けいじ
末丸 啓二
非常勤 心療内科
《外来診察日》
火曜日



たなか もとき
田中 基樹
非常勤 総合診療科
《外来診察日》
水曜日



ささき けんすけ
佐々木 健介
非常勤 内科(腎臓)
《外来診察日》
金曜日

外来診療 予定表

診療時間

午前 9:00~13:00
・受付は12:30まで
・リハビリ受付は12:00まで

午後 14:00~18:00
・受付は17:30まで
・リハビリ受付は17:00まで

休診日

土曜日午後
日曜日・祝祭日
8月14~16日
12月30日~1月3日

※ 令和2年10月1日現在

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	末丸直子 (9時半から)	浅海良昭	串畑重行	末丸直子	末丸直子 佐々木健介 ※腎臓内科	檜井俊英
	午後	浅海良昭	檜井俊英		浅海良昭	檜井俊英	
外科	午前		浅海良昭				
	午後	浅海良昭			浅海良昭		
泌尿器科	午前	久米隆	中原満	久米隆/川崎真実 (週交代)	久米隆	久米隆	広大泌尿器科
	午後	久米隆	中原満	久米隆/川崎真実 (週交代)		久米隆	
神経内科	午前						
	午後			永野義人 (17時まで)			
整形外科	午前	原田仁			原田仁		
	午後	原田仁 (15時から)					
総合診療科	午前						
	午後			田中基樹			
循環器科	午前						檜井俊英
	午後		檜井俊英			檜井俊英	
心療内科	午前						
	午後		末丸啓二				

病院概要

名称	医療法人社団光仁会 梶川病院
所在地	〒733-0022 広島市西区天満町8番7号
電話番号	082-231-1131 (代表)
FAX	082-231-8866 (代表)
URL	http://www.kajikawa.or.jp
開設	1980年5月(昭和55年)
院長	末丸 直子
診療科目	内科・外科・泌尿器科・整形外科・循環器科 肛門科・放射線科・リハビリテーション科 人工透析内科・神経内科・精神科
病床数	88床 (地域包括ケア病棟48床、医療療養病棟40床)
基準	地域包括ケア病棟1 療養病棟入院基本料1(在宅復帰機能強化加算)
併設	通所リハビリテーションすみれ(定員40名)
主な設備	オープンタイプMRI 16列マルチスライスCT 高精度デジタルX線透視装置 等

光仁会 梶川病院は、地域の在宅医療を支える病院です

透析を含む一般内科・外科・泌尿器科を中心とした治療を行っています

個々に応じたリハビリを行い、在宅・社会復帰に向けたきめ細かな支援に力を入れています

人工透析をされている、もしくは導入予定の方は、退院後も外来透析が可能です(フェニックスクリニックにて実施)

各部署が連携をとりながら情報を共有し、患者さんひとりひとりに合った医療・介護を提供するよう心がけています

周辺案内図

公共交通をご利用の方は

- ・広島電鉄市内線
天満町電停下車 徒歩2分
- ・広島バス25号線
天満町バス停下車 すぐ



光仁会 梶川病院グループ

【広島市域事業所】

- ① 光仁会 梶川病院(入院・外来)
電話:082-231-1131
〒733-0022 広島市西区天満町8-7
- ② フェニックスクリニック(人工透析)
電話:082-293-8400
〒733-0031 広島市西区観音町7-29
- ③ あしたば訪問看護ステーション
電話:082-234-0585
〒733-0022 広島市西区天満町13-19
- ④ 通所リハビリテーションすみれ
電話:082-231-1196
〒733-0022 広島市西区天満町8-7
- ⑤ 居宅介護支援事業所リンデン
電話:082-297-7717
〒733-0022 広島市西区天満町13-19

【廿日市市域事業所】

- 老人保健施設べにまんさくの里
電話:0829-50-0031
〒739-0478 廿日市市大野1320

【庄原市域事業所】

- こぶしの里クリニック
電話:08477-2-5255
老人保健施設こぶしの里
電話:08477-2-5252
〒729-5121 庄原市東城町川東152-4



財団法人 日本医療機能評価機構認定病院

医療法人社団

光仁会 梶川病院

内科/外科/泌尿器科/整形外科/循環器科/肛門科/放射線科/
リハビリテーション科/人工透析内科/神経内科/精神科

発行:医療法人社団光仁会 梶川病院
編集・文責:地域医療連携室

〒733-0022 広島市西区天満町8-7
TEL(082)231-1131(代) FAX(082)-231-8866(代)
http://www.kajikawa.or.jp